

日本防災士会新潟県支部 会員各位

佐渡市防災リーダースキルアップ研修実施報告書

新潟地区幹事 古俣和博

下記について、実施しましたので報告いたします。

日時：令和3年2月27日（土） 13：30～16：00

場所：佐渡市トキのむら元気館

演題：「地区防災計画作成のポイント」（新潟県支部事務局 成川一正）

「地区防災計画策定の奮闘記」（新潟地区幹事 古俣和博）

参加者：会場 150名＋別室 ZOOM 視聴佐渡市内支部会員防災士 15名

【感想】

- ・ 想定を上回る申込みがあり会場はほぼ満席の状況。
- ・ 佐渡市防災リーダーの「防災意識の高さ」と「地区防災計画への関心の高さ」が感じられた。
- ・ 一人暮らし家庭の増加が課題
- ・ 災害時避難行動要支援者へ自主防災組織の対応がしっかりできるか不安などの感想があった。



↑ 別室で ZOOM 視聴する県支部会員

新潟 NEWS WEB

佐渡市で防災計画作りの研修会

02月28日 10時47分



佐渡市では27日、防災に対する意識を高めてもらおうと市民を対象にした防災研修会が開かれ、防災士が日ごろからの備えと防災計画の重要性を呼びかけました。

この研修会は日本防災士会新潟県支部が、佐渡市の地域防災リーダーなどを対象に開いたもので、

会場のトキのむら元気館には、地元の150人余りが集まりました。

研修会では、日本防災士会新潟県支部の事務局長、成川一正さんが防災計画について講演を行いました。

成川さんはこの中で、「防災計画」を作成する際には、地区の特性をよく知る住民自身が具体的な計画にすることが大切だとして、地域のリスクを知って災害をイメージすることなど作成にあたって必要なポイントを紹介しました。

幹事の古俣和博さんは、新潟市内の自治会で防災計画を作成した経験から、自分の自治会だけではなくほかの自治会との連携を強化し続けることが大切だと話していました。

参加した地元の60代の男性は「一人家庭のところや、お年寄りが多くなっているの、個別の事情を把握していくのが重要なんだなと思いました」と話していました。